

2011年版より国際統計を加えることにより世界におけるベトナムの位相を比較できるようになりました。
2014年7月末 発売 !!

ベトナム統計年鑑 2012年版

B5判 925頁 ISBN 978-4-939153-99-0 C3033 価格 39,600円+税
発行ピスタ ピー・エス

第1&2部 翻訳者 NGUYEN THI THANH THUY (ゲン ティ タン トウイ)博士 (経済学)
監修者 高橋 壘 (タカハシ ルイ) 東海大学政治経済学部准教授

構成

第1部 ベトナム統計

1. 行政機構、気候
2. 人口と雇用
3. 国民経済計算及び国家財政
4. 投資
5. 企業

6. 農業、林業、漁業
7. 工業
8. 商業、観光
9. 物価指標
10. 運輸、郵政、通信
11. 教育
12. 医療、文化、スポーツ、生活水準

第2部 国際統計

第3部 日越貿易会が財務省通関統計などを基にまとめた詳細な日越貿易統計

【2012年度の日越間取引額】

輸出 857,346,262千円 前年度比 12.25%増 輸入 1,203,008,451千円 前年度比 30.78%増
合計 2,060,354,713千円 前年度比 22.37%増

【訳者あとがきより】

ベトナム統計総局 (General Statistical Office : GSO) により毎年出版されている統計年鑑は近年経済発展著しいベトナムの社会経済動向を把握するための基礎的な資料である。多くの項目について最上級行政単位である省 (Province ; tinh) 別にデータが掲載されており、各統計指標について時系列的な発展のみならず地域的差異の観察をも可能にしている。

2012年版統計年鑑において、これまでの版からの重要な変更点は、序文でも触れられている通り、価格指数や実質値の計算等に用いられる固定価格が、これまでの1994年価格から2010年価格になったことである。それゆえ、比較的長期の時系列データを作成する際には、接続の問題が発生しうることには注意が必要である。特に「工業」の項目における「工業生産指数」については、2010年価格を固定価格として基準に用いたものと2005年を基準年として用いたものが掲載されている。ベトナムでは日本の独立行政法人国際協力機構 (JICA) の協力のもと、2010年基準による工業生産指数の改定作業が行われてきたが、その成果は2012年12月24日に新基準の工業生産指数 (2010年基準) として公表された。

産業別の項目については、これまでの版と同様、特に断りがない限りベトナム標準産業分類2007 (VSIC2007 ; Vietnam Standard Industrial Classification) が適用されていると考えられたため、本文中の邦訳産業名については、日本の総務省統計局による『日本標準産業分類 (2002年改訂、2007年改訂) と国際標準産業分類の分類項目比較表』に原則として従っている。VSIC2007は、国際連合統計部により定められた国際標準産業分類改訂第4版 (International Standard Industrial Classification revision 4 ; ISIC Rev.4) に基づき統計総局が作成したものであることから、VSIC2007とISIC Rev.4の分類項目はほぼ同じである。

原資料はベトナム語と英語の併記であるが、原則として越文に基づいた邦訳が行われ、訳文の正確性には細心の注意が払われている。ただし、多くの方々に利用していただけるように、本邦訳版が日英併記であることを意識し、わかりやすく翻訳することを心がけた。特に各章初めに掲載されている「統計指標の内容と導出方法、用語説明」の専門用語については日本語での定訳を用いつつ、読みやすくなるように努めている。ベトナム語特有の概念・事象についても可能な限り、日本語でイメージし易い訳語を用いることに配慮した。

翻訳者 NGUYEN THI THANH THUY (ゲン ティ タン トウイ)

取扱書店